

ISEP 2012

2nd International Symposium on Electronic Paper

電子ペーパー国際シンポジウム

開催日: 2012年10月31日, 11月1日 場所: パシフィコ横浜会議センター
FPDインターナショナル(10/31~11/2)と同時開催

電子ペーパーを備えた電子書籍が米国では広く使われるようになりました。そしてアジアでも本格的な電子書籍の普及が始まろうとしています。電池寿命を気にすることなく表示を可能とする電子ペーパー技術は、電子書籍だけでなくユビキタスネットワーク社会での重要性が認識されつつあります。

そこで、日本画像学会ではISEP2010に続く第2回目としてISEP2012を企画しました。ISEP2012では電子ペーパーのカラー化、アプリケーション、材料・プロセス技術の分野から専門家をお招きして、最新の電子ペーパー技術について議論を深めたいと思います。最新技術動向調査、ビジネス開拓、コラボレーションの機会としてご活用ください。

講演予定 (講演はすべて英語)

I. カラー化 (10月31日午後)

- ・ エレクトロウエッティングカラー電子ペーパー 画素からビルボードまで (Pferzheim大学)
- ・ 多層エレクトロクロミック方式によるカラー電子ペーパー (リコー)
- ・ Mirasol --- 電子ペーパーや他用途向け革新カラー表示技術 (Qualcomm)
- ・ 認定プロセスで製造されたフレキシブル10.7インチカラー電子ペーパー (Plastic Logic)
- ・ 独立移動カラー粒子を用いた新規電気泳動カラー電子ペーパー (富士ゼロックス)

II. アプリケーション (11月1日午前)

- ・ マイクロカプセル電気泳動技術の進展 (E Ink Holdings)
- ・ 高解像度電子ペーパーシステムプラットフォーム (セイコーエプソン)
- ・ EPDの応用 e-Readingを超えて (凸版印刷)

III. 材料とプロセス (11月1日午後)

- ・ カラーフィルタを使わないカラー電気泳動ディスプレイ向け材料 (Merck Chemicals)
- ・ 電子ペーパー用刺激応答ヤヌス粒子の作製 (東北大)
- ・ フレキシブルEPD用二層カーボンナノチューブ透明導電フィルム (東レ)
- ・ 透明エレクトロウエッティングディスプレイ開発の進展状況 (ITRI)
- ・ レーザーを用いたプリンテッドエレクトロニクス向けロールツーロール製造 (光)

実行委員会

[実行委員長] 面谷 信 (東海大)
[実行副委員長] 前田秀一 (東海大), 堀田吉彦 (リコー), 酒井真理 (東京大)
[プログラム委員長] 川瀬健夫 (日本触媒)

➤ **ISEP2012 Web site** http://www.isj-imaging.org/event/symposium/ISEP2012/ISEP2012_info.html



Organized by: (一社)日本画像学会 The Imaging Society of Japan
Supported by: **Nikkei Business Publications**
Co-Sponsored by: **SID Japan Chapter and IS&T Tokyo Chapter**